平成19年度尚絅学園 年間総集編

尚絅大学

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学式	創立記念日／新入生歓迎行事（スポーツ大会）	CSM留学生帰国	オープンキャンパス／七夕祭・弁論大会（文化言語） モンタナ大学留学生出発 ※1	工場見学（生活科学） ※2	尚絅公開講座（桧木キャンパスは10月迄）		尚絅祭	書道展（書道）		卒業制作展（書道）　尚美展	卒業式

尚絅大学短期大学部

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学式／新入生歓迎行事（総合食物・三井グリーンランド） 幼教バレーボール大会	創立記念日		オープンキャンパス		尚絅公開講座（桧木キャンパスは10月迄）		尚絅祭	スポーツ大会 ※3／学外実習反省会（総合・食物）	管理栄養士国家試験模試／部分保育（幼教） ※4	尚美展（幼教）	卒業式

尚絅高　等学校

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学式／1年宿泊研修（阿蘇） 遠足（2年・動植物園）（3年・小萩園）	創立記念日	文化祭／はなしのぶコンサート／高校総文祭 高校総体／アメリカ高校生との交流会	クラスマッチ／終業式	1・2年勉強合宿（阿蘇）	尚絅コンサート	体育祭	芸術鑑賞会（泥かぶら）	2年研修旅行（関東）／1・3年クラスマッチ 終業式	3年百人一首大会 ※5／予餞会	卒業式／1・2年金峰山登山	

尚絅中学校

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学式／新入生歓迎遠足（二の丸・県立美術館）	創立記念日／1年宿泊研修（吉北）	文化祭／はなしのぶコンサート 県中体連大会／七夕祭／水泳クラスマッチ 終業式	3年勉強合宿（清和村）		尚絅コンサート	体育祭	芸術鑑賞会（泥かぶら）	2年修学旅行（関西）／終業式	新春かるた大会	節分祭	卒業式 ※6／クラスマッチ

尚絅幼稚園

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入園式／おみしり会	創立記念日／芋苗植え／保育参観／年中動物園見学 年少江津湖遠足／年長博物館見学／プール開き	終業式		栗拾い／尚絅中職場体験 ※7	運動会／芋掘り		親と子のつどい（森の遊び）※8／年長スケート体験 もちつき大会／お楽しみ子ども会／終業式	鏡開き・肥後ちょんかけ独楽／年中祖父母の会（凧揚げ）		豆まき／発表会	ひな祭り／お別れ会／終了式

※1「文化言語・モンタナ留学」　土持梓（学生）

私達、英語コミュニケーションコースの6人は、アメリカのモンタナ州立大学に4ヶ月半留学しました。英語に囲まれた現地での生活は、毎日が緊張、驚き、感動の連続で、その全てが私達にとって新鮮、かつ魅力的な世界でした。日本人には考えられないようなアメリカ人の行動に驚かされることも多かった反面、現地の人達の温かさや優しさに触れ、人と人との繋がりの大切さを知りました。そして何より、他国の文化に触れることで、日本の文化や環境について考え直すことができたことが、私達の中で大きな大きな財産となりました。今回の留学期間中に現地で体験したことすべてが私の一生の宝物となり、このような素晴らしい経験をさせてくださった大学の先生方、そして両親に深く感謝しています。

※2「生活科学・工場見学」　木村宏和講師

2年の食品加工学実習では、毎年8月にヤクルト熊本工場、サントリー九州熊本工場の見学を行います。見学を通して、加工食品の製造工程、最新設備、品質管理、衛生管理等や、各工場の環境に対する取り組みについて学びます。ヤクルト熊本工場では、ヤクルト及びソフールの最新製造工程見学、ビフィズス菌などの整腸作用、腸内細菌と健康の関わり、ヤクルト容器を利用した工場廃水処理等についての講義があります。サントリー九州熊本工場では、ビールの製造工程、品質管理、環境への取り組み等についての講義があります。現場のスタッフの方々が丁寧に説明してくださり、見学後の質疑応答の時間も長く取っていただけるので、非常によく理解できると学生の間で好評です。

※3「総合食物・スポーツ大会」　渡邊恵理華（職員）

12月11日、短期大学部九品寺キャンパス学生会主催のスポーツ大会が行われました。今回は総合生活学科・食物栄養学科合同のソフトバレーボール大会で、学生51チーム、教職員3チームの計54チームが参加し、学生も教職員も和気あいあいとした雰囲気の中で楽しみました。チームはクラス編成になっており、ユニフォームを揃えたり、お揃いのものを身に付けたりと、皆さと個性あふれたチームで会場は大盛り上がりでした。試合中も、1点入るたびに歓声が沸き、スポーツの楽しさを心ゆくまで味わいました。優勝したチームには豪華な賞品が贈られ、学生たちも先生方も普段の講義とは違ったひとときを経験できたようです。総合生活学科・食物栄養学科という学科の枠を越え、充実したスポーツ大会となりました。

※4「幼児教育・実習に追われる一年間」　永田好（学生）

一月の保育実習では、部分保育を行いました。実習の何もかもが初めての事ばかりで、実際は事前に考えていた保育指導案のようにはいかず、最初はとても不安でした。また、歌の歌い出しの時には、言葉かけが足りなかったために子ども達を困らせてしまったりもしました。しかし、その度に実習先の先生方がアドバイスしてくださったり、自分なりに反省することで、少しずつ要領を得ていったように思います。授業で肯ったことを実際に体験できたり、また逆に授業では学べないことを経験したりと、とても有意義な実習をすることができました。今後は、この実習で学んだことをこれからの授業に生かし、自分自身の成長と、そして将来指導をする子ども達のために、何事にも積極的に一生懸命取り組んでいきたいと思います。

※5「高校・百人一首大会」　宮崎尚子講師

百人一首は、四季折々の景観や微妙に揺れ動く恋の気分を読み込んだ、日本人の美意識が端的に表れている素晴らしい文化遺産です。この伝統文化に何とか触れさせたいとの思いから、クラス対抗百人一首大会を企画しました。初めての併しという事で、日本かるた協会公認A級読手の楠田倫之先生（六段）をお招きし、雰囲気を盛り上げる事にしました。会が始まると、今までのお喋りはどこへやら皆集中しています。やがて札を叩く音があちこちから聞こえると同時に歓声があがります。冬休みに百人一首を暗記する課題が出ていた事と、国語の授業時間に練習試合をしていたことで期待が膨らんでいたようです。伝統文化の良さに触れると共に、お互いの親睦も深めることが出来、会の目的を充分に果たすことが出来たと思います。

※6「中学・尚絅中学ならではの取り組み」　江尻研一教頭

3月3日は中学校の卒業式です。いみじくもこの日は娘の成長と幸福を願うひな祭りでもあります。ひな祭りは、日本女性に最も似合う伝統文化であり、日本女性としてのたしなみを身につけた娘とお雛様は、まさにぴったりの感があります。文部科学省の新学習指導要領では「伝統と文化を体感させる指導が家庭科でできるようになりました。このことは、本校で行っている茶道、華道、茶道、書道の教育に繋がります。1年の装道では、浴衣の着付けを通して礼法・作法をしっかりと学び、全ての基本となります。これら四つの道と呼ばれる教育は、尚絅の建学の精神とも相マッチし、国際社会にも通用します。このような学びの3年間を終え、3月3日に卒業する本校卒業生こそひな祭りに最もふさわしい光景です。

※7「幼稚園・尚絅中学校の職場体験」　田添和子副園長

尚絅幼稚園で、尚絅中学3年生の職場体験が実施されました。園児は中学生と一緒にブランコに乗ったり、虫を見つけたりと、とても楽しそうでした。中学生も園児に誘われて、次第に緊張感が解けてきたようです。また、中学校生活とは違った時間の流れの中で、自分を顧みるきっかけになったようです。後日中学生から「幼稚園の先生の仕事は思った以上にきつくて体力を使うと思った。」などの感想が寄せられました。中学校の先生からは「この体験を通して、中学生自身が責任や自立について自覚したという成果が得られた。」という話をお聞きしました。このように幼稚園と中学校が、成果を確かめ合いながらそれぞれの教育を充実させていくことも、尚絅学園ならではの取り組みです。

※8「幼稚園・森の遊び」　田添和子副園長

尚絅幼稚園は、自然の風情をそのままに生かした桧木キャンパスの東部にあります。この自然環境を生かして「親と子の集い～森の遊び～」を実施しました。幼稚園の周辺には、ムカゴ、ドングリ、ヤマブドウなどの実が豊富で、紅葉の美しい木々や虫などが多く生息しています。「みんなの森」や「イチョウの広場」もあります。当日は、子どもも大人も森のおいしい空気を吸い、思う存分秋の1日を楽しみました。乗らかな落ち葉の絨毯を歩いていると、「足が埋もれていくよ。ふかふかだね。」「こんな柔らかな土の上を歩いたのは何年ぶりかな。」という親子の呟きが聞こえました。森の中では子どもも大人も癒されます。本園は、自然の事象や動植物に親しみ、畏敬の念、命を大切にする気持ちを育てることを教育の方針としています。